

議員と語る会

特集号



農村環境改善センター(西里)



桜東公民館



弥勒寺公民館



新吉田公民館

～開かれた議会・町民と共にある議会を目指して～

意見

町に対する意見要望のまとめ

●移住定住を進めるうえで、転入者に地域や社会のルールを守っていただく施策が必要である。

【町の答】 全ての転入者に、「暮らしのガイドブック」「ゴミの日程表・分け方出し方」「休日診療当番医」「地震の揺れやすさマップ」等のほか、お住まいになる地区名・隣組をお知らせしている。

また、首都圏等での説明会で町内の情報をお知らせしており、移住・定住後のケアについても心がけている。

●隣組に加入しない方が増え、地域住民との連帯感が薄れてきている。

【町の答】 指針はないが、町内会に加入することを前提に手続きを行っており、区長さんへあいさつに行っていたかどうかようご案内している。

●遊学館で町出身の偉人を紹介している。

【町の答】 町でも紹介するスペースを確保すべきである。

【町の答】 施設が手狭なため、常設で展示を行うことは難しい状況である。サハトベに花のエントランス付近のタッチパネルのパソコンと遊蔵郷土資料館内のパソコンで、「河北町の偉人」として本町に功績のあった25人の偉人を紹介している。

要望

●最上川グリーンパークにパークゴルフ場を整備してほしい。

また、道海のグラウンドゴルフ場を多目的に使用できないか。

【町の答】 現在のところ、パークゴルフ場の整備計画はない。

今後の動向を注視のうえ、必要性を考えていく。

グラウンドゴルフ場については、平成29年度より施設利用が可能となった。多目的スポーツとしての利用は考えていないが、グラウンドゴルフ連盟会員以外の方よりグラウンドゴルフのための施設利用のニーズもあるようなので、その際は町が連盟と協議を図り利用できるように調整していきたい。

●町の路線バスに乗りしている人が少ない。デマンドバス化(希望者の家まで来る)の検討が必要ではないか。

●平成30年度から国民健康保険の財政運営は市町村から県に移行するが、町民にわかりやすく情報提供すべきである。

●新庁舎建設は、将来の財政的な見通しを慎重かつ十分検証し、健全財政を維持することに最大限の配慮が必要である。

●中心市街地が空洞化して、高齢者が買い物できなくなった。

町で場所を提供して、高齢者が買い物できる環境をつくるべきである。

また、町のホームページでも同様の紹介を行っている。

この度の議員と語る会において、町民の皆様からいただいたご意見・ご要望は、町に申し入れます。

2017年12月14日

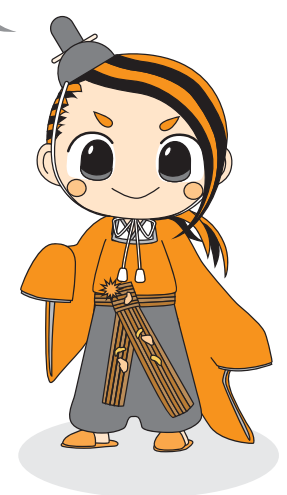
発行/河北町議会

編集/議会運営委員会

班編成	1班	2班	3班	4班
	木村 章一 榎 正義 細矢 誓子 石垣 光洋	岡田 桂司 丹野 貞子 松田 收作 吉田 芳美	漆山 光春 増川 修 東海林信弘	齋藤 隆 大場 勇人 松田 賀好

開催日	会場	班	参加人数
10月17日(火)	長表公民館	1班	4人
	桜東公民館	2班	15人
	弥勒寺公民館	3班	7人
	高関公民館	4班	11人
10月18日(水)	新吉田公民館	1班	8人
	北口公民館	2班	8人
	農村環境改善センター(西里)	3班	31人
	溝延第4区公民館	4班	4人

ご参加ありがとうございました



発刊にあたって

河北町議会は、町民に対してより開かれた議会を目指すとともに、町政及び議会活動に対する理解を深めていただくことを目的に、7回目となる議会報告会を開催しました。

夜間にも関わらず、多くの町民のご参加をいただき、活発な意見交換ができたものと思っています。

心から感謝申し上げます。

このたびはいただきましたご意見・ご要望等は、議会運営委員会を中心に議論を重ね、対応等を調査・検討していきます。

また、町政全般に対するご意見・ご要望については、町に申し入れることとしました。

今後とも、町民と議会の交流の場を通し、町民に信頼される議会を目指して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

河北町議会

議会運営委員会

町民に開かれた議会 情報共有と政策提言で

河北町議会は、10月17日と18日の2日間、自治公民館を主会場に昨年より1会場多い町内8か所で、7回目となる議会報告会を開催しました。参加していただいた皆様から、議会と町に対するご意見・ご要望をいただき、それらをまとめましたのでご報告いたします。

議会に対する意見・要望

議員の活動

議員が政策提言するうえで、町民の意見が十分に反映されるような参加型を求めたい。

また、物事を決める時は、※ファシリテーション手法を用いてほしい。
※参加者の意見を引き出し、問題解決、合意形成に向けて論点を整理すること。

議会では、決算審査を基調に町民からの意見を整理し、議員間で討議して政策提言する「政策形成サイクル」の研修を行っている。

議会においては、話し合いをスムーズに運ばせるファシリテーションに心がけている。

観光振興などの新たな施策を推進することも重要だが、長期展望に立った視点で、安全安心なまちづくりを議論してほしい。

町民が希望を持てるよう、町の「あるべき姿」に向けて議論を進めていく。

議会傍聴

緊張感のある議会とするためにも、若い人も含め傍聴者を増やす努力をすべきではないか。

9月定例会では28名で例年並みだった。また、開かれた議会を進めるうえで傍聴者増加に向けて議論していく。

傍聴席からは議員の後ろ姿しか見えない。新庁舎議場は、議員の様子がかげえるような配慮を望む。

議会ネット中継により、常に議員は見られている。

議会だより

議会だより96・97号を熟読したが、ポイントを明確に指摘し、記事の

内容も良い。中でも、議会運営委員会の視察報告で、チェック機能と政策提言に共感した。

さまざまな研修会を通して、読みやすい議会だよりを目指している。政策提言という議会本来の機能を発揮できるように研修を重ねている。



北口公民館

町に対する意見・要望

新庁舎建設

庁舎建設といっているが、内容がわからない

ので現状を聞きたい。

敷地面積が9000㎡で、新庁舎の面積は5300㎡、耐震構造によ

る鉄筋コンクリート造を基本とし、木質化を図るとしている。
新庁舎が現在地に建

議会では9月定例会

最中の9月12日にプールの

の南西側が3cm沈下して

いることを確認した。町

は、工事前の専門的な地

質調査などの結果は、数

値的にクリアしていたと

している。

今後、沈下が進むのか

どうかを見ながら、今後

の対策を地質・設計・施

工業者と協議を行って

いく。議会も原因解明を

行っていく。

プールは公認か。また、

オーバーフロー水は

再利用するのか。

公認プールではなく、

また、水は再利用してい

ない。

プールの建設費と県

や国からの補助金はいく

らか。

建設費は約6億90

00万円、国の補助金

は約1億2000万円

である。

農業振興

スノーポール生産が日本一（JAさがえ西村山）だ。河北町に特化した農業振興策が必要と考える。

生産日本一は素晴ら

しい。まずは、委員会で研究したい。

べに花の里かほくと

いっても、紅花で起業は

難しい。目玉はさくらん

ぼ栽培であるが、農家の

高齢化が進む中では、畑

や設備を貸して生産して

もらう考えが必要ではな

いか。

地域おこし協力隊が

紅花の商品開発などに努

力している。また、農業振

興の拠点をつくり、河北

町に特化した支援が大切

で議会でも議論していく。

谷地橋4車線化

渋滞は朝晩の一時的であり、4車線化は必要か。交通体系を考えれば、田井橋を優先すべきではないか。

田井橋再架橋期成同盟会は40年ほど前からあり、必要性も理解できる。今は、谷地橋を優先的に進めている。

町は谷地橋4車線化を本気で進めていくのか。

今年度より3者（河北町、東根市、山形県）勉強会が始まり機運が高まった。11月23日、町民総決起大会を行う予定だ。

設決定の経緯はどうか。

町は、新庁舎建設に関する有識者会議の答申を受け、判断したと認識している。

議会は、有識者会議の答申、町民から出された意見や庁舎建設特別委員会の調査・検討を踏まえ決定した。

建設費の費用増も心配だ。サハトベに花建設で、建設費が膨れ上がった経過もある。

サハトベに花建設予算は、20数億円が40数億円になった。最近では鶴岡市の事例もあり、議会は長期財政計画の提出を求めるなど、しっかりと監視していきたい。

庁舎建設に関して建設場所、建物の構造など職員の見解が入っているのか。トップダウンになつていないか。

職員の意見は課・係を通して、また、職員団体からも要望書が出されていると聞いている。

6月には議会としても提言書1を提出、提言書2では、基本設計に町民の意見が反映される場を設けるよう要望している。

平成28年5月に庁

内検討委員会を立ち上げたほか、窓口部会や庁内環境部会、防災部会からなる庁内検討委員会部会で協議を行っている。

新庁舎の木造の話はどうなったか。

庁舎の骨格となる構造体について、議会でも木造と鉄筋コンクリート造（RC造）のメリット・デメリットの議論を行ったが、最終的に基本計画で示されたRC造とした。

新庁舎建設費はどのくらいか、将来町民の負担にならないか心配だ。基本計画では総額38億円、庁舎建設基金として平成29年度末で10億円の積立てがある。これに国の支援制度を活用するとしている。

町民の負担増にならないよう議会も注視していく。

新庁舎の駐車場を広く確保してほしい。

庁舎建設の敷地として、約2600㎡の敷地を北側に確保する予定であり、駐車スペースも確保できると思う。

新庁舎は、現在より



高関公民館

町民の声を町政に反映させる議会

産直施設

質 産直施設はどうなっているのか。
答 J.A.がえ西村山の産直施設として、ようやく建物の建築が始まっている。来年の2月オープン予定と聞いている。

ふるさと納税

質 ふるさと納税の使い方はどうなっているか。寄付をいただいた方に、お知らせなどを実施しているのか。
答 子育て・教育、協働のまちづくりなど4項目を納税者から選択していただき使途を決定している。寄付をいただいた方には、町の広報をお送りしている。

質 ふるさと納税者を通して本町の持つ「いいもの」をPRするなど、交流人口と観光に力を注ぐべきだ。
答 ふるさと納税額が増えた理由として、返礼率を手厚くしたこと。また、観光農業体験事業などを目的に来町者も増えている。

質 観光地としての活用は、商工観光課で対応している。
答 野鳥観察や森林浴などの楽しめる場所として平成5年に「ふるさと散歩道」が整備された。階段部の経年による老朽化も確認されるので、安全確保のための修繕等について計画的に進める。

質 どのが祭りについて我関せず、寄付もしたくない現状がある。
答 町内会組織や祭りの実施方法について、行政から指針を出すべきではないか。
答 大きな課題と考え

その他の課題・地域の課題

質 旧北谷地保育所跡地利用の在り方、学童保育などに活用してほしい。
答 町では、各地区の考

児童動物園

質 県内唯一の児童動物園と標榜しているが、町のホームページのトップページにない。
町の答 ホームページのトップページに表示できるか協議する。

質 児童動物園に来られる



溝延第4区公民館

起業支援

る大型バスが路上に駐車するので渋滞する。
町の答 バスの駐車スペース確保については事前予約制で確保しているが、不足する場合にはど

質 起業支援の目的は。起業支援で最大500万円の支援があることを議会だよりで知ったが、今年度は終わっていた。もっと町民に分かりやすく知らせしてほしい。
答 起業支援は新しい働き場所づくりを支援し、町の人口や税収を増やすことだ。

最上川築堤等

質 起業支援の目的は。起業支援で最大500万円の支援があることを議会だよりで知ったが、今年度は終わっていた。もっと町民に分かりやすく知らせしてほしい。
答 起業支援は新しい働き場所づくりを支援し、町の人口や税収を増やすことだ。

町の答 6月に町民の方から寄附を受けた後、6月に補正予算で対応し、事業を進めてきた。広報かほくや商工かほく、町ホームページ、町準公式フェイスブック、※ミラサポの施策情報の表示に掲載し、PRに努めた。わかりやすい情報提供に努めていく。

質 山交バスが回送で丹野園の前を走っていく。
町の答 6月に町民の方から寄附を受けた後、6月に補正予算で対応し、事業を進めてきた。広報かほくや商工かほく、町ホームページ、町準公式フェイスブック、※ミラサポの施策情報の表示に掲載し、PRに努めた。わかりやすい情報提供に努めていく。

質 山交バスが回送で丹野園の前を走っていく。
町の答 6月に町民の方から寄附を受けた後、6月に補正予算で対応し、事業を進めてきた。広報かほくや商工かほく、町ホームページ、町準公式フェイスブック、※ミラサポの施策情報の表示に掲載し、PRに努めた。わかりやすい情報提供に努めていく。

路線バス

質 山交バスが回送で丹野園の前を走っていく。
町の答 6月に町民の方から寄附を受けた後、6月に補正予算で対応し、事業を進めてきた。広報かほくや商工かほく、町ホームページ、町準公式フェイスブック、※ミラサポの施策情報の表示に掲載し、PRに努めた。わかりやすい情報提供に努めていく。

道の駅

町の答 施設を管理する国土交通省では、現状のポンプ能力を引き上げる計画はないようだ。現状を捉え、防災意識の普及・啓発に努める。

質 現在の道の駅は、本来の機能を果たしているか疑問に思っている。

ます子どもの数は減るものと予想している。
質 河北すこやかふれあい交流センターにスポーツ用具（スカットボール、シャトルボード）を用意する話だったが、用意されていない。
町の答 町に確認したい。スカットボール、ダーツ

を用意した。
質 溝延地区には、買い物する場所や子どもを預ける場所もない。中心部だけでなく、周辺の地域振興策を考えないと若い人は住まない。
町の答 町立の保育所・幼稚園が地域からなくなり、保育環境が不十分になり、議会としても課題と

認識している。地域振興については、マスタープランで対応すべきと考える。
質 新吉田南沢地区の地すべり対策について、役場や改良区に要望を出しているが具体化が遅い。公共事業の発生残土を持ってこれないか。
町の答 平成25年11月に町で要請を受けている。今後の農地整備事業、その他の公共事業の残土を考慮していくことになる。

しかし、本町での公共工事により発生する残土も、なかなか多く見込めない状況だ。
質 新吉田地区の町道センターラインと側道のラインが消えている。
町の答 摩耗の激しい区画線については、年次的に整備していく。

質 去年は除雪の請負業者が変わったのか出勤に対応できていなかった。円滑な除雪対策を望む。（北谷地区）
町の答 今年度は、個別除雪に関する相談は、都市整備課を窓口としていく。



長表公民館

えを尊重し、跡地活用を考えている。
質 学童保育には、指導員の確保や人件費などの課題はあるが、区長会などで要望を取りまとめることが大事と考える。
質 平成29年度からごみ袋の40円証紙の旧袋はごみステーションに置いていくが、せつかく買ったものは、あるうちに使っても良いと思うが。
町の答 平成28年度の一年間は新旧のごみ袋を使用する猶予期間を設けた。旧ごみ袋の交換も、町で行っている。守っている方との不公平感もある。
質 私はミニバスケットに変わって33年になる。子どもが減っているのに、学校を超えたチームにしないと成り立たない。
町の答 今後の子ども数の推移はどうなるのか。
町の答 10年前の小学生の数は1117人だが、今年度は911人と10年間で206人減少している。さらに5年後の平成34年度には、町内の小学生は775人になり、ます

国道287号線沿いに移転し、産直・鮮魚センターなど、思い切った判断が必要ではないか。
町の答 道の駅の指定管理者が代わってから、民間のノウハウを積極的に取り入れるなど好評だ。しかし、場所や建物の機能を考えると、存り方について検討する時期にきていると思う。

まちづくり等

質 谷地南部地区の避難場所を確保してほしい。例えば旧町民プール跡地などに。
町の答 旧町民プール跡地は宅地として開発するつもりだったが、その後、具体的な話はない。

質 月山堂の開発はどのような状況か。
町の答 議会には昨年4月に計画の説明があったが、その後の説明はない。

質 本年度より配置された、べに花おとめの具体的な仕事は何か。
町の答 べに花おとめは台湾や中国、日本の方で地方創生交付金などを活用し町のPRとまちづくりに取り組んでいる。

その後の説明はない。
質 本年度より配置された、べに花おとめの具体的な仕事は何か。
町の答 べに花おとめは台湾や中国、日本の方で地方創生交付金などを活用し町のPRとまちづくりに取り組んでいる。